



昨年9月の大雨時の常総市役所周辺

どう生かす？ 鬼怒川堤防決壊

遠山 智恵子 議員

問 9月10日の鬼怒川堤防決壊は、旧藤代地域の住民にとって人ごとではない。市として、どのように今後の教訓とするのか。

副市長 災害には莫大な経費が掛かる。いつ起きるかわからない災害に備え、基金を積み立てておいたり、危機管理を頭に入れながら対応している。

問 小貝川の危険重要度Aランクへの対応を早急に。建設部長 堤防本体ではなく、付属するものや文巻橋の高さ不足について、国が改修の優先順位を公表している。実施時期を早めるよう要望を続ける。

問 藤代地域の排水問題は、北浦川改修が要。改修の進行状況は。

答 相橋から常磐線までの用地交渉、工事を実施。
問 総合計画に防災ラジオの導入がある。いつ導入。総務部長 導入に向けて事務を進めている。

双葉団地内 ゾーン30を有効に

阿部 洋子 議員

問 双葉団地内は、ゾーン30（生活道路の安全確保のため、最高速度を30キロに規制し、路面標示を整備して、通過交通や速度抑制を図る）関連工事として、U字溝を含む道路改良工事が行われている。しかし、地域住民でない通過車両は、今もスピードを出して抜け道として利用している。久賀小通りと中央通りの交差点に信号機設置を。

市長 ゾーン30にしたが、死亡事故を含む重篤な事故が多発し、問題視している。県公安委員会に三灯信号機設置を要望していく。
安全安心対策課長 双葉団地の皆さまには、のほり旗の設置、雨天時は片付けるなど、大変協力をいただいている。交差点に色を塗るので、事故の減少に期待をしている。

問 やむを得ない策として、交通取り締まりを提案する。

答 信号機設置と併せて要望していきたい。

問題はなかった？ かたらいの郷

小池 悦子 議員

問 かたらいの郷利用者に、疥癬感染者が発生し、

浴場などの一部施設利用を中止した。利用者への対応策は。

健康福祉部参事 市内のかたらいの郷に乗り入れるバスやバス停にチラシを掲示。相談者には適切な治療方法や医療機関を紹介した。

問 市の責任者として、施設の衛生管理をどう考える。

答 第一報の際、直ちに保健所にも連絡し、衛生管理上問題ないと受けている。

問 脱衣所のマットや広間の畳は気にならなかったか。

答 マットはこまめに替えていた。畳も全部交換する。

問 疥癬は感染力が弱く、広がりや予測しなかった判断で間違いないか。

答 ノルウエー疥癬であれば感染力が高いので非常に問題だが、通常疥癬は水虫など、どこでもかかり得る病気。念を入れて予防する。

問 夜眠れないほどのかゆみなど、病気を患ってしまった人たちへの責任は。

答 責任を持って利用中止をした。無責任にやっているわけではない。

戸頭住民との約束を 果たせ！

関戸 勇 議員

問 昭和58年に戸頭公民館は、住民参加型で市との協



戸頭駅へ向かう歩道

**安全・安心のまち
取手のために…**
山野井 隆 議員

問 街路灯設置数や要望の状況は。

建設部長 市内に1万200灯のLED防犯灯がある。今年度は47基の要望があり、17基を設置。8基が設置基準以下。22基が年度内に順次設置予定。

問 不審者情報と設置要望を連動させるべきでは。

管理課長 検討していく。

問 取手駅西口公衆トイレのリニューアルを。

まちづくり振興部長 朝夕1回ずつ清掃を実施。設置後28年経過しているのので、駅前広場等の開発時に協議していきたい。

問 以前、トランス脂肪酸を含むマーガリンを学校給食から排除を求める質問を行った。現状は。

教育長 提供していない。

問 戸頭駅前、国道下のトンネルが暗い。対応を。

答 水銀灯は4年周期で交換しているが、経年劣化により照度が低い印象。水銀・蛍光灯廃止の話もあるので国の動向を見ながらLEDに替えていきたい。

